

## 平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールB (Seminar of Study B)		授業コード	C172584
担当教員名	坂井 美穂		科目ナンバリングコード	P30702
配当学年	3	開講期	後期	
必修・選択区分	必修	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	卒業研究として希望する専門領域の担当教員クラスを履修すること。			
受講心得	受け身の姿勢にならず、積極的な姿勢で授業に臨んでください。			
教科書	必要に応じて資料を配付します。			
参考文献及び指定図書	必要に応じて講義中に提示します。			
関連科目				

授業の目的	研究ゼミナールは4年次の卒業研究に着手するための準備を行うことを目的とした科目です。この科目は各専門領域の教員がゼミナール形式で開講することで、学生に専門教育科目の履修だけでは不足しがちな専門教育を学ぶ上での学習方法・学習態度を身につけてもらうと同時に、卒業研究に着手する上で必要となる専門領域に関するより高度な知識・技術の習得をめざします。
授業の概要	学生一人一人が課題を設定し、計画を立てて研究を進めます。複数回、課題の問題点や進捗状況について報告をしてもらいます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：オリエンテーション</b> 研究ゼミナールの進め方およびスケジュール、研究内容等について説明します。各自のテーマを決定します。レポートおよびパワーポイントは事前チェックを必ず受け、報告会に臨みます。	各テーマに関する事前調査・報告会用レポート作成・プレゼン資料作成
<b>第2週：報告会1</b> 各自のテーマについて、事前調査した内容をプレゼンテーションを行います。	課題の見直し等
<b>第3週：実験実施1</b> 学生一人一人が課題を設定し、計画を立てて研究を進めます。実験結果は、その場で研究ノートにまとめ、必ず指導を受け、指摘事項は次週までに必ず解決できるようにしてください。	実験のまとめ レポート作成 追加実験
<b>第4週：実験実施2</b> 学生一人一人が課題を設定し、計画を立てて研究を進めます。実験結果は、その場で研究ノートにまとめ、必ず指導を受け、指摘事項は次週までに必ず解決できるようにしてください。	実験のまとめ レポート作成 追加実験
<b>第5週：実験実施3</b> 学生一人一人が課題を設定し、計画を立てて研究を進めます。実験結果は、その場で研究ノートにまとめ、必ず指導を受け、指摘事項は次週までに必ず解決できるようにしてください。	実験のまとめ レポート作成 追加実験
<b>第6週：実験実施4</b> 学生一人一人が課題を設定し、計画を立てて研究を進めます。実験結果は、その場で研究ノートにまとめ、必ず指導を受け、指摘事項は次週までに必ず解決できるようにしてください。レポートおよびパワーポイントは事前チェックを必ず受け、報告会に臨みます。	各テーマに関する事前調査・報告会用レポート作成・プレゼン資料作成
<b>第7週：報告会2</b>	課題の見直し等

各自のテーマについて、課題の問題点や進捗状況についてプレゼンテーションを行います。		
<b>第8週：実験実施1</b> 学生一人一人が課題を設定し、計画を立てて研究を進めます。 実験結果は、その場で研究ノートにまとめ、必ず指導を受け、指摘事項は次週までに必ず解決できるようにしてください。		実験のまとめ レポート作成 追加実験
<b>第9週：実験実施2</b> 学生一人一人が課題を設定し、計画を立てて研究を進めます。 実験結果は、その場で研究ノートにまとめ、必ず指導を受け、指摘事項は次週までに必ず解決できるようにしてください。		実験のまとめ レポート作成 追加実験
<b>第10週：実験実施3</b> 学生一人一人が課題を設定し、計画を立てて研究を進めます。 実験結果は、その場で研究ノートにまとめ、必ず指導を受け、指摘事項は次週までに必ず解決できるようにしてください。		実験のまとめ レポート作成 追加実験
<b>第11週：実験実施4</b> 学生一人一人が課題を設定し、計画を立てて研究を進めます。 実験結果は、その場で研究ノートにまとめ、必ず指導を受け、指摘事項は次週までに必ず解決できるようにしてください。レポートおよびパワーポイントは事前チェックを必ず受け、報告会に臨みます。		各テーマに関する事前調査・報告会用レポート作成・プレゼン資料作成
<b>第12週：報告会3</b> 各自のテーマについて、課題の問題点や進捗状況についてプレゼンテーションを行います。		課題の見直し等
<b>第13週：実験実施1</b> 学生一人一人が課題を設定し、計画を立てて研究を進めます。 実験結果は、その場で研究ノートにまとめ、必ず指導を受け、指摘事項は次週までに必ず解決できるようにしてください。		実験のまとめ レポート作成 追加実験
<b>第14週：実験実施2</b> 学生一人一人が課題を設定し、計画を立てて研究を進めます。 実験結果は、その場で研究ノートにまとめ、必ず指導を受け、指摘事項は次週までに必ず解決できるようにしてください。		実験のまとめ レポート作成 追加実験
<b>第15週：実験実施3</b> 学生一人一人が課題を設定し、計画を立てて研究を進めます。 実験結果は、その場で研究ノートにまとめ、必ず指導を受け、指摘事項は次週までに必ず解決できるようにしてください。レポートおよびパワーポイントは事前チェックを必ず受け、報告会に臨みます。		各テーマに関する事前調査・報告会用レポート作成・プレゼン資料作成
<b>第16週：成果発表会</b> 各自のテーマにそって検証してきた内容について、成果をプレゼンテーションしてもらいます。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	
	(3) アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	①理由のない遅刻や欠席をせず、報告、連絡、相談を適切に行うことができる。 ②専門教育を学ぶ上での学習方法・学習態度を身につける。
<b>【知識・理解】</b>	①卒業研究に着手する上で必要となる専門領域に関するより高度な知識・技術の習得をめざす。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	①レポートに誤字・脱字等がなく、適切なソフトを用い、読みやすく書ける。 ②課題の進捗状況や問題点等をレポート作成し、図表を使い、第三者にわかりやすく説明できる。

【思考・判断・創造】	①課題について、必要な情報の判断等ができるようになる。
------------	-----------------------------

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【 <b>関心・意欲・態度</b> 】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点	40点	
【 <b>知識・理解</b> 】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		10点		
【 <b>技能・表現・コミュニケーション</b> 】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		15点		
【 <b>思考・判断・創造</b> 】 ※「考え抜く力」を含む。		15点		
<p>(「人間力」について)</p> <p>※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p>				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	<p>レポート課題は3回です。(20点/回×3回)各回のレポートを次の基準で採点します。</p> <p>課題の目的を適切につかめている;4点            目的に対し、適切な方法をとっている;4点            適切な図表等を用い、結果や考察を行っている;4点            課題解決やレポート作成のために、調査、思考、判断、相談、途中経過報告等を行うことができる;3点            期日に間に合うよう提出をしている;5点</p>
発表・その他 (無形成果)	出席点を40点満点とし、欠席1回ごとに4点、遅刻2回ごとに4点減じます。なお、正当な理由のある場合は申し出てください。状況に応じ、対処します。